

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
東京観光専門学校	昭和57年10月1日	玉井 正人	〒162-0843 東京都新宿区市谷田町3丁目21番地 (電話) 03-3235-5713				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 東京安達学園	昭和42年1月12日	安達 暁子	〒102-0081 東京都千代田区四番町11番地 (電話) 03-3221-0202				
目的	旅行業界のニーズ(コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力・考える力・ビジネスマナー)に合ったカリキュラムを実施し、旅行・観光業界と協同しながら卒業後に社会で活躍できる人財の育成を目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	旅行学科 (トラベル専攻)	平成7年1月23日 文部科学省告示第7号	-			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1920	1728	288	544	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
240人	160人	6人	10人	16人			
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席率、試験、授業態度による総合評価			
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月25日～8月31日 ■冬季:12月24日～1月7日 ■春季:3月1日～3月31日 ■学年末:3月31日		卒業・進級条件	卒業単位の取得が条件			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 個人面談や三者面談、カウンセラーの紹介を行っている		課外活動	■課外活動の種類 各種イベント、ボランティア活動、クラブ活動を行っている ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 旅行・鉄道・バス・ホテル業界等 ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 95.1% ■その他 (平成26年度卒業者に関する平成27年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等	国内旅行業務取扱管理者 総合旅行業務取扱管理者 旅程管理者 国内地理検定 世界遺産検定 TOEIC 実用英語技能検定等			
中途退学の現状	■中途退学者 9名 ■中退率 6% 平成26年4月1日 在学者 160名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 151名 (平成27年3月31日 卒業者を含む)						
	■中途退学の主な理由 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失						
	■中退防止のための取組 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など						
ホームページ	http://www.tit.ac.jp/						

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

業界が必要とするスキルを効果的にカリキュラムに反映させることを目的とする

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名 前	所 属
三橋 滋子	日本添乗サービス協会
柏倉 幸彦	株式会社ジャパトラ

(開催日時)

第1回 平成27年3月18日 14:00～17:00

第2回 平成27年6月25日 15:00～16:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

旅行業界が求めるスキルの向上を目指す

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ワープロ実習・パソコン実習(WEBデザイン)	旅行会社ではパソコンのスキルは必須であり、それを使い、パンフレットの効果的な作成方法などを総合的に学んでいく。	有限会社トラベルリサーチ

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

業界の現状に即した知識を学び、スキルを修得する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名 前	所 属
小林 隆	東武旅行サービス
関口 恭一	カフェ・カルモ
西田 篤史	フィーリングデザイン
高木 友子	日本ケアフィット共育機構
鈴木 俊恭	卒業生
勢川 直樹	卒業生

(学校関係者評価結果の公表方法)

[URL:http://www.tit.ac.jp/](http://www.tit.ac.jp/)

5. 情報提供

(情報提供の方法)

[URL:http://www.tit.ac.jp/](http://www.tit.ac.jp/)

授業科目等の概要

(観光専門課程旅行学科トラベル専攻) 平成27年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			国家試験対策 (国内)	旅行業法、旅行業約款及び各種約款、国内旅行実務 (国内観光地理、国内運賃料金) を学習し、国家試験の取得を目指す。	1前	224	14	○			○		○	△		
○			リアルビジネス (旅行会社運営実習)	旅行会社から講師を招き、最新の情報や知識の提供を受けながら、旅行の企画・造成・集客まで一連の流れを修得する。	1通2前	96	6	○	△		○			○		
○			ユニバーサルホスピタリティ (イベントプランニング)	旅行会社で必要とされるイベント企画から運営まで、さらに企画書の書き方などについて学ぶ。	1通2前	96	6	△	○		○			○		
○			海外観光地理	世界各国の観光素材について、世界遺産等を交えながら学ぶ。総合管理者試験対策授業の一環でもある。	1後	64	4	○			○				○	
○			海外旅行実務	出入国法令をベースに実際の実務について学習する。総合管理者試験対策授業の一環でもある。	1後	32	2	○			○				○	
○			航空運賃	国際線の航空運賃の算出方法について学習する。総合管理者試験対策授業の一環でもある。	1後	64	4	○			○			○		
○			旅行知識 I	国内旅行業務に必要な地理・歴史・文化を総合的に学習する。	1通	64	4	○			○				○	
○			旅行演習 I (旅行ゼミ)	リアルビジネス (旅行会社運営実習) とリンクし、グループワークを中心に、旅行商品の企画立案、プレゼンテーションを行う。	1後	96	6		○		○	△			○	
○			予約端末機実習 (CRS実習)	コンピューターを使った航空会社の予約システムの操作方法を修得する。	1通2後	96	6				○	○			○	
合計																
					科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(観光専門課程旅行学科トラベル専攻) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			就職対策	就職活動に必要な筆記試験、面接、グループディスカッションなどの対応能力の向上を図る。	1後2前	64	4	○			○	○			
○			実用英語 (英検対策)	クラスを級数に分け、各級の実用英語検定試験の合格を目指す。	1通2通	256	16	○			○	○			
○			観光英語 (英会話)	コミュニケーション手段としての英語に特化し、実際に観光業の様々な場面で必要な英会話を学習する。	1通2通	128	8	○		△	○			○	
○			ワープロ実習 (WEBデザイン)	WEB上の広告やパンフレットの作成などで効果的な「見せ方」を習得する。	1通	64	4				○	○		○ ○	
○			ビジネスマナー	社会人として必要な立ち居振る舞い、言葉使い、ビジネスマナーを修得する。	1前2後	64	4	○		△	○		○		
○			国家試験対策	旅行業法、旅行業約款及び各種約款、海外旅行実務(海外地理、出入国法令・実務、旅行実務、語学、国際航空運賃など)を学習し、国家試験の取得を目指す。	2前	224	14	○			○		○		
○			旅行演習Ⅱ (旅行ゼミ)	リアルビジネス(旅行会社運営実習)とリンクし、グループワークを中心に、旅行商品の企画立案、プレゼンテーションを行う。	2後	96	6	○			○	△		○	
○			卒業制作	2年間の集大成として、旅行の原点である「人を動かす」ためのイベントを企画・立案する。	2後	96	6	○	△		○		○	△	
○			パソコン実習 (WEBデザイン)	WEB上の広告やパンフレットの作成などで効果的な「見せ方」を習得する。	2通	64	4				○	○		○ ○	
合計															
					科目	単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(観光専門課程旅行学科トラベル専攻) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		貿易実務 (検定対策)	運行管理資格の合格を目指す。	2後	32	2	○			○			○	
	○		手話 (検定対策)	地理検定の合格を目指す。	2後	32	2	○			○			○	
	○		旅程管理 (検定対策)	世界遺産検定の合格を目指す。	2後	32	2	○			○			○	
		○	手話	手話の基礎を修得する。	1後	32	2	○		△	○			○	
		○	英会話	ネイティブの教員と、英語でのコミュニケーションの上達を図る。	1後 2後	64	4	○		△	○			○	
		○	パソコン実習	パソコンの基礎的スキルを修得する。	1後 2後	64	4	○		△	○			○	
		○	旅程管理	国内および総合旅程管理資格の修得を目指す。	1後	32	2	○		△	○	△		○	
		○	ホテル概論	ホテル業界の現状と将来について俯瞰する。	2通	64	4	○			○			○	
		○	企業実習	旅行会社でのインターンシップを行う。		320					○	○			
合計					27科目		2560単位時間(160単位)			

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件・・・108単位以上を取得。 その内必修・選択必修科目は96単位以上取得しなければならない	1学年の学期区分	2期
履修方法・・・必修選択・自由選択科目は1回目の授業開始前までに希望をとる	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
東京観光専門学校	昭和57年10月1日	玉井 正人	〒162-0843 東京都新宿区市谷田町3丁目21番地 (電話) 03-3235-5713				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 東京安達学園	昭和42年1月12日	安達 暁子	〒102-0081 東京都千代田区四番町11番地 (電話) 03-3221-0202				
目的	旅行業界のニーズ(コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力・考える力・ビジネスマナー)に合ったカリキュラムを実施し、旅行・観光業界と協同しながら卒業後に社会で活躍できる人財の育成を目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	旅行学科 (ツアーコンダクター専攻)	平成7年1月23日 文部科学省告示第7号	-			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1920	1664	288	608	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
240人	160人	6人	10人	16人			
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席率、試験、授業態度による総合評価			
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月25日～8月31日 ■冬季:12月24日～1月7日 ■春季:3月1日～3月31日 ■学年末:3月31日		卒業・進級条件	卒業単位の取得が条件			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 個人面談や三者面談、カウンセラーの紹介を行っている		課外活動	■課外活動の種類 各種イベント、ボランティア活動、クラブ活動を行っている ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 旅行・鉄道・バス・ホテル業界等 ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 95.1% ■その他 (平成26年度卒業者に関する平成27年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等	国内旅行業務取扱管理者 総合旅行業務取扱管理者 旅程管理者 国内地理検定 世界遺産検定 TOEIC 実用英語技能検定等			
中途退学の現状	■中途退学者 9名 平成26年4月1日 在学者 160名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 151名 (平成27年3月31日 卒業者を含む)		■中途退率 6%				
	■中途退学の主な理由 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失						
	■中退防止のための取組 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など						
ホームページ	http://www.tit.ac.jp/						

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

業界が必要とするスキルを効果的にカリキュラムに反映させることを目的とする

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年4月1日

名 前	所 属
三橋 滋子	日本添乗サービス協会
柏倉 幸彦	株式会社ジャパトラ

(開催日時)

平成27年6月25日 15:00～16:30

平成27年9月1日 13:00～14:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

旅行業界が求めるスキルの向上を目指す

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ワープロ実習・パソコン実習(WEBデザイン)	旅行会社ではパソコンのスキルは必須であり、それを使い、パンフレットの効果的な作成方法などを総合的に学んでいく。	有限会社トラベルリサーチ

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

業界の現状に即した知識を学び、スキルを修得する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年4月1日

名 前	所 属
小林 隆	有限会社東武旅行サービス
関口 恭一	株式会社CALMO(カフェ・カルモ)
西田 篤史	株式会社Feeling Design
高木 友子	公益財団法人日本ケアフィット共育機構
鈴木 俊恭	卒業生
勢川 直樹	卒業生

(学校関係者評価結果の公表方法)

[URL:http://www.tit.ac.jp/](http://www.tit.ac.jp/)

5. 情報提供

(情報提供の方法)

[URL:http://www.tit.ac.jp/](http://www.tit.ac.jp/)

授業科目等の概要

(観光専門課程旅行学科ツアーコンダクター専攻) 平成27年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			国家試験対策 (国内)	旅行業法、旅行業約款及び各種約款、国内旅行実務 (国内観光地理、国内運賃料金) を学習し、国家試験の取得を目指す。	1 前	224	14	○			○		○	△		
○			リアルビジネス (旅行会社運営実習)	旅行会社から講師を招き、最新の情報や知識の提供を受けながら、旅行の企画・造成・集客まで一連の流れを修得する。	1 通 2 前	96	6	○	△		○			○		
○			ユニバーサルホスピタリティ (イベントプランニング)	旅行会社で必要とされるイベント企画から運営まで、さらに企画書の書き方などについて学ぶ。	1 通 2 前	96	6	△	○		○			○		
○			海外観光地理	世界各国の観光素材について、世界遺産等を交えながら学ぶ。総合管理者試験対策授業の一環でもある。	1 後	64	4	○			○				○	
○			海外旅行実務	出入国法令をベースに実際の実務について学習する。総合管理者試験対策授業の一環でもある。	1 後	32	2	○			○				○	
○			航空運賃	国際線の航空運賃の算出方法について学習する。総合管理者試験対策授業の一環でもある。	1 後	64	4	○			○			○		
○			添乗業務 I	添乗員の果たす役割について理解を深めるとともに、主任添乗員に必須の旅管理資格の取得を目指す。	1 通	64	4	△		○	○				○	
○			旅行演習 I (旅行ゼミ)	リアルビジネス (旅行会社運営実習) とリンクし、グループワークを中心に、旅行商品の企画立案、プレゼンテーションを行う。	1 後	96	6		○		○	△			○	
○			予約端末機実習 (CRS実習)	コンピューターを使った航空会社の予約システムの操作方法を修得する。	1 通 2 後	96	6			○	○				○	
合計																
					科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(観光専門課程旅行学科ツアーコンダクター専攻) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			就職対策	就職活動に必要な筆記試験、面接、グループディスカッションなどの対応能力の向上を図る。	1後2前	64	4	○			○	○			
○			実用英語 (英検対策)	クラスを級数に分け、各級の実用英語検定試験の合格を目指す。	1通2通	256	16	○			○	○			
○			観光英語 (英会話)	コミュニケーション手段としての英語に特化し、実際に観光業の様々な場面で必要な英会話を学習する。	1通2通	128	8	○		△	○			○	
○			ワープロ実習 (WEBデザイン)	WEB上の広告やパンフレットの作成などで効果的な「見せ方」を習得する。	1通	64	4				○	○		○	○
○			ビジネスマナー	社会人として必要な立ち居振る舞い、言葉使い、ビジネスマナーを修得する。	1前2後	64	4	○		△	○		○		
○			国家試験対策	旅行業法、旅行業約款及び各種約款、海外旅行実務(海外地理、出入国法令・実務、旅行実務、語学、国際航空運賃など)を学習し、国家試験の取得を目指す。	2前	224	14	○			○		○		
○			旅行演習Ⅱ (旅行ゼミ)	リアルビジネス(旅行会社運営実習)とリンクし、グループワークを中心に、旅行商品の企画立案、プレゼンテーションを行う。	2後	96	6	○			○	△		○	
○			卒業制作	2年間の集大成として、旅行の原点である「人を動かす」ためのイベントを企画・立案する。	2後	96	6	○	△		○		○	△	
○			パソコン実習 (WEBデザイン)	WEB上の広告やパンフレットの作成などで効果的な「見せ方」を習得する。	2通	64	4				○	○		○	○
合計															
					科目	単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(観光専門課程旅行学科ツアーコンダクター専攻) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		貿易実務 (検定対策)	運行管理資格の合格を目指す。	2後	32	2	○			○			○	
	○		手話 (検定対策)	地理検定の合格を目指す。	2後	32	2	○			○			○	
	○		旅程管理 (検定対策)	世界遺産検定の合格を目指す。	2後	32	2	○			○			○	
		○	手話	手話の基礎を修得する。	1後	32	2	○		△	○			○	
		○	英会話	ネイティブの教員と、英語でのコミュニケーションの上達を図る。	1後 2後	64	4	○		△	○			○	
		○	パソコン実習	パソコンの基礎的スキルを修得する。	1後 2後	64	4	○		△	○			○	
		○	旅程管理	国内および総合旅程管理資格の修得を目指す。	1後	32	2	○		△	○	△		○	
		○	ホテル概論	ホテル業界の現状と将来について俯瞰する。	2通	64	4	○			○			○	
		○	企業実習	旅行会社でのインターンシップを行う。		320					○	○			
合計					27科目		2560単位時間(160単位)			

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件・・・108単位以上を取得。 その内必修・選択必修科目は96単位以上取得しなければならない	1学年の学期区分	2期
履修方法・・・必修選択・自由選択科目は1回目の授業開始前までに希望をとる	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
東京観光専門学校	昭和57年10月1日	玉井 正人	〒162-0843 東京都新宿区市谷田町3丁目21番地 (電話) 03-3235-5713				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 東京安達学園	昭和42年1月12日	安達 暁子	〒102-0081 東京都千代田区四番町11番地 (電話) 03-3221-0202				
目的	旅行業界のニーズ(コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力・考える力・ビジネスマナー)に合ったカリキュラムを実施し、旅行・観光業界と協同しながら卒業後に社会で活躍できる人財の育成を目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	旅行学科 (トラベルプランナー専攻)	平成7年1月23日 文部科学省告示第7号	-			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1920	1664	288	608	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
240人	160人	6人	10人	16人			
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席率、試験、授業態度による総合評価			
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月25日～8月31日 ■冬季:12月24日～1月7日 ■春季:3月1日～3月31日 ■学年末:3月31日		卒業・進級条件	卒業単位の取得が条件			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 個人面談や三者面談、カウンセラーの紹介を行っている		課外活動	■課外活動の種類 各種イベント、ボランティア活動、クラブ活動を行っている ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 旅行・鉄道・バス・ホテル業界等 ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 95.1% ■その他 (平成26年度卒業者に関する平成27年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等	国内旅行業務取扱管理者 総合旅行業務取扱管理者 旅程管理者 国内地理検定 世界遺産検定 TOEIC 実用英語技能検定等			
中途退学の現状	■中途退学者 9名 ■中退率 6% 平成26年4月1日 在学者 160名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 151名 (平成27年3月31日 卒業者を含む)						
■中途退学の主な理由 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失							
■中退防止のための取組 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など							
ホームページ	http://www.tit.ac.jp/						

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

業界が必要とするスキルを効果的にカリキュラムに反映させることを目的とする

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年4月1日

名 前	所 属
三橋 滋子	日本添乗サービス協会
柏倉 幸彦	株式会社ジャパトラ

(開催日時)

平成27年6月25日 15:00～16:30

平成27年9月1日 13:00～14:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

旅行業界が求めるスキルの向上を目指す

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ワープロ実習・パソコン実習(WEBデザイン)	旅行会社ではパソコンのスキルは必須であり、それを使い、パンフレットの効果的な作成方法などを総合的に学んでいく。	有限会社トラベルリサーチ

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

業界の現状に即した知識を学び、スキルを修得する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年4月1日

名 前	所 属
小林 隆	有限会社東武旅行サービス
関口 恭一	株式会社CALMO(カフェ・カルモ)
西田 篤史	株式会社Feeling Design
高木 友子	公益財団法人日本ケアフィット共育機構
鈴木 俊恭	卒業生
勢川 直樹	卒業生

(学校関係者評価結果の公表方法)

[URL:http://www.tit.ac.jp/](http://www.tit.ac.jp/)

5. 情報提供

(情報提供の方法)

[URL:http://www.tit.ac.jp/](http://www.tit.ac.jp/)

授業科目等の概要

(観光専門課程旅行学科トラベルプランナー専攻) 平成27年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			国家試験対策 (国内)	旅行業法、旅行業約款及び各種約款、国内旅行実務 (国内観光地理、国内運賃料金) を学習し、国家試験の取得を目指す。	1 前	224	14	○			○		○	△		
○			リアルビジネス (旅行会社運営実習)	旅行会社から講師を招き、最新の情報や知識の提供を受けながら、旅行の企画・造成・集客まで一連の流れを修得する。	1 通 2 前	96	6	○	△		○			○		
○			ユニバーサルホスピタリティ (イベントプランニング)	旅行会社で必要とされるイベント企画から運営まで、さらに企画書の書き方などについて学ぶ。	1 通 2 前	96	6	△	○		○			○		
○			海外観光地理	世界各国の観光素材について、世界遺産等を交えながら学ぶ。総合管理者試験対策授業の一環でもある。	1 後	64	4	○			○				○	
○			海外旅行実務	出入国法令をベースに実際の実務について学習する。総合管理者試験対策授業の一環でもある。	1 後	32	2	○			○				○	
○			航空運賃	国際線の航空運賃の算出方法について学習する。総合管理者試験対策授業の一環でもある。	1 後	64	4	○			○			○		
○			プランニング実習 I	国内および海外の観光素材をとりあげた旅行の企画ならびに造成を学習する。	1 通	64	4	△			○	○			○	
○			旅行演習 I (旅行ゼミ)	リアルビジネス (旅行会社運営実習) とリンクし、グループワークを中心に、旅行商品の企画立案、プレゼンテーションを行う。	1 後	96	6		○		○	△			○	
○			予約端末機実習 (CRS実習)	コンピューターを使った航空会社の予約システムの操作方法を修得する。	1 通 2 後	96	6				○	○			○	
合計				科目	単位時間 (単位)											

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(観光専門課程旅行学科トラベルプランナー専攻) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			就職対策	就職活動に必要な筆記試験、面接、グループディスカッションなどの対応能力の向上を図る。	1後2前	64	4	○			○	○			
○			実用英語 (英検対策)	クラスを級数に分け、各級の実用英語検定試験の合格を目指す。	1通2通	256	16	○			○	○			
○			観光英語 (英会話)	コミュニケーション手段としての英語に特化し、実際に観光業の様々な場面で必要な英会話を学習する。	1通2通	128	8	○		△	○			○	
○			ワープロ実習 (WEBデザイン)	WEB上の広告やパンフレットの作成などで効果的な「見せ方」を習得する。	1通	64	4				○	○		○ ○	
○			ビジネスマナー	社会人として必要な立ち居振る舞い、言葉使い、ビジネスマナーを修得する。	1前2後	64	4	○		△	○		○		
○			国家試験対策	旅行業法、旅行業約款及び各種約款、海外旅行実務(海外地理、出入国法令・実務、旅行実務、語学、国際航空運賃など)を学習し、国家試験の取得を目指す。	2前	224	14	○			○		○		
○			旅行演習Ⅱ (旅行ゼミ)	リアルビジネス(旅行会社運営実習)とリンクし、グループワークを中心に、旅行商品の企画立案、プレゼンテーションを行う。	2後	96	6	○			○	△		○	
○			卒業制作	2年間の集大成として、旅行の原点である「人を動かす」ためのイベントを企画・立案する。	2後	96	6	○	△		○		○	△	
○			パソコン実習 (WEBデザイン)	WEB上の広告やパンフレットの作成などで効果的な「見せ方」を習得する。	2通	64	4				○	○		○ ○	
合計															
					科目	単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(観光専門課程旅行学科トラベルプランナー専攻) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		貿易実務 (検定対策)	運行管理資格の合格を目指す。	2後	32	2	○			○			○	
	○		手話 (検定対策)	地理検定の合格を目指す。	2後	32	2	○			○			○	
	○		旅程管理 (検定対策)	世界遺産検定の合格を目指す。	2後	32	2	○			○			○	
		○	手話	手話の基礎を修得する。	1後	32	2	○		△	○			○	
		○	英会話	ネイティブの教員と、英語でのコミュニケーションの上達を図る。	1後 2後	64	4	○		△	○			○	
		○	パソコン実習	パソコンの基礎的スキルを修得する。	1後 2後	64	4	○		△	○			○	
		○	旅程管理	国内および総合旅程管理資格の修得を目指す。	1後	32	2	○		△	○	△		○	
		○	ホテル概論	ホテル業界の現状と将来について俯瞰する。	2通	64	4	○			○			○	
		○	企業実習	旅行会社でのインターンシップを行う。		320					○	○			
合計					27科目	2560単位時間			(160単位)				

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件・・・108単位以上を取得。 その内必修・選択必修科目は96単位以上取得しなければならない	1学年の学期区分	2期
履修方法・・・必修選択・自由選択科目は1回目の授業開始前までに希望をとる	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
東京観光専門学校	昭和57年10月1日	玉井 正人	〒162-0843 東京都新宿区市谷田町3丁目21番地 (電話) 03-3235-5713				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 東京安達学園	昭和42年1月12日	安達 暁子	〒102-0081 東京都千代田区四番町11番地 (電話) 03-3221-0202				
目的	旅行業界のニーズ(コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力・考える力・ビジネスマナー)に合ったカリキュラムを実施し、旅行・観光業界と協同しながら卒業後に社会で活躍できる人財の育成を目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	旅行学科 (国内旅行専攻)	平成7年1月23日 文部科学省告示第7号	-			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1920	1728	288	544	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
240人	160人	6人	10人	16人			
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席率、試験、授業態度による総合評価			
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月25日～8月31日 ■冬季:12月24日～1月7日 ■春季:3月1日～3月31日 ■学年末:3月31日		卒業・進級条件	卒業単位の取得が条件			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 個人面談や三者面談、カウンセラーの紹介を行っている		課外活動	■課外活動の種類 各種イベント、ボランティア活動、クラブ活動を行っている ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 旅行・鉄道・バス・ホテル業界等 ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 95.1% ■その他 (平成26年度卒業者に関する平成27年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等	国内旅行業務取扱管理者 総合旅行業務取扱管理者 旅程管理者 国内地理検定 世界遺産検定 TOEIC 実用英語技能検定等			
中途退学の現状	■中途退学者 9名 ■中退率 6% 平成26年4月1日 在学者 160名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 151名 (平成27年3月31日 卒業者を含む)						
	■中途退学の主な理由 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失						
	■中退防止のための取組 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など						
ホームページ	http://www.tit.ac.jp/						

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

業界が必要とするスキルを効果的にカリキュラムに反映させることを目的とする

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年4月1日

名 前	所 属
三橋 滋子	日本添乗サービス協会
柏倉 幸彦	株式会社ジャパトラ

(開催日時)

平成27年6月25日 15:00～16:30

平成27年9月1日 13:00～14:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

旅行業界が求めるスキルの向上を目指す

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ワープロ実習・パソコン実習(WEBデザイン)	旅行会社ではパソコンのスキルは必須であり、それを使い、パンフレットの効果的な作成方法などを総合的に学んでいく。	有限会社トラベルリサーチ

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

業界の現状に即した知識を学び、スキルを修得する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年4月1日

名 前	所 属
小林 隆	有限会社東武旅行サービス
関口 恭一	株式会社CALMO(カフェ・カルモ)
西田 篤史	株式会社Feeling Design
高木 友子	公益財団法人日本ケアフィット共育機構
鈴木 俊恭	卒業生
勢川 直樹	卒業生

(学校関係者評価結果の公表方法)

[URL:http://www.tit.ac.jp/](http://www.tit.ac.jp/)

5. 情報提供

(情報提供の方法)

[URL:http://www.tit.ac.jp/](http://www.tit.ac.jp/)

授業科目等の概要

(観光専門課程旅行学科国内専攻) 平成27年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			国家試験対策 (国内)	旅行業法、旅行業約款及び各種約款、国内旅行実務 (国内観光地理、国内運賃料金) を学習し、国家試験の取得を目指す。	1前	224	14	○			○		○	△		
○			リアルビジネス (旅行会社運営実習)	旅行会社から講師を招き、最新の情報や知識の提供を受けながら、旅行の企画・造成・集客まで一連の流れを修得する。	1通2前	96	6	○	△		○			○		
○			ユニバーサルホスピタリティ (イベントプランニング)	旅行会社で必要とされるイベント企画から運営まで、さらに企画書の書き方などについて学ぶ。	1通2前	96	6	△	○		○			○		
○			海外観光地理	世界各国の観光素材について、世界遺産等を交えながら学ぶ。総合管理者試験対策授業の一環でもある。	1後	64	4	○			○				○	
○			海外旅行実務	出入国法令をベースに実際の実務について学習する。総合管理者試験対策授業の一環でもある。	1後	32	2	○			○				○	
○			航空運賃	国際線の航空運賃の算出方法について学習する。総合管理者試験対策授業の一環でもある。	1後	64	4	○			○			○		
○			国内旅行知識 I	国内旅行業務に必要な地理・歴史・文化を総合的に学習する。	1通	64	4	○			○				○	
○			旅行演習 I (旅行ゼミ)	リアルビジネス (旅行会社運営実習) とリンクし、グループワークを中心に、旅行商品の企画立案、プレゼンテーションを行う。	1後	96	6		○		○	△			○	
○			予約端末機実習 (CRS実習)	コンピューターを使った航空会社の予約システムの操作方法を修得する。	1通2後	96	6				○	○			○	
合計				科目	単位時間(単位)			

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(観光専門課程旅行学科国内専攻) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			就職対策	就職活動に必要な筆記試験、面接、グループディスカッションなどの対応能力の向上を図る。	1後2前	64	4	○			○	○			
○			実用英語 (英検対策)	クラスを級数に分け、各級の実用英語検定試験の合格を目指す。	1通2通	256	16	○			○	○			
○			観光英語 (英会話)	コミュニケーション手段としての英語に特化し、実際に観光業の様々な場面で必要な英会話を学習する。	1通2通	128	8	○		△	○			○	
○			ワープロ実習 (WEBデザイン)	WEB上の広告やパンフレットの作成などで効果的な「見せ方」を習得する。	1通	64	4				○	○		○ ○	
○			ビジネスマナー	社会人として必要な立ち居振る舞い、言葉使い、ビジネスマナーを修得する。	1前2後	64	4	○		△	○		○		
○			国家試験対策	旅行業法、旅行業約款及び各種約款、海外旅行実務(海外地理、出入国法令・実務、旅行実務、語学、国際航空運賃など)を学習し、国家試験の取得を目指す。	2前	224	14	○			○		○		
○			旅行演習Ⅱ (旅行ゼミ)	リアルビジネス(旅行会社運営実習)とリンクし、グループワークを中心に、旅行商品の企画立案、プレゼンテーションを行う。	2後	96	6	○			○	△		○	
○			卒業制作	2年間の集大成として、旅行の原点である「人を動かす」ためのイベントを企画・立案する。	2後	96	6	○	△		○		○	△	
○			パソコン実習 (WEBデザイン)	WEB上の広告やパンフレットの作成などで効果的な「見せ方」を習得する。	2通	64	4				○	○		○ ○	
合計															
					科目	単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(観光専門課程旅行学科国内旅行専攻) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
	○		貿易実務 (検定対策)	運行管理資格の合格を目指す。	2後	32	2	○			○			○	
	○		手話 (検定対策)	地理検定の合格を目指す。	2後	32	2	○			○			○	
	○		旅程管理 (検定対策)	世界遺産検定の合格を目指す。	2後	32	2	○			○			○	
		○	手話	手話の基礎を修得する。	1後	32	2	○		△	○			○	
		○	英会話	ネイティブの教員と、英語でのコミュニケーションの上達を図る。	1後 2後	64	4	○		△	○			○	
		○	パソコン実習	パソコンの基礎的スキルを修得する。	1後 2後	64	4	○		△	○			○	
		○	旅程管理	国内および総合旅程管理資格の修得を目指す。	1後	32	2	○		△	○	△		○	
		○	ホテル概論	ホテル業界の現状と将来について俯瞰する。	2通	64	4	○			○			○	
		○	企業実習	旅行会社でのインターンシップを行う。		320					○	○			
合計					27科目		2560単位時間(160単位)			

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件・・・108単位以上を取得。 その内必修・選択必修科目は96単位以上取得しなければならない	1学年の学期区分	2期
履修方法・・・必修選択・自由選択科目は1回目の授業開始前までに希望をとる	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
東京観光専門学校	昭和57年10月1日	玉井 正人	〒162-0843 東京都新宿区市谷田町3丁目21番地 (電話) 03-3235-5713				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 東京安達学園	昭和42年1月12日	安達 暁子	〒102-0081 東京都千代田区四番町11番地 (電話) 03-3221-0202				
目的	旅行業界のニーズ(コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力・考える力・ビジネスマナー)に合ったカリキュラムを実施し、旅行・観光業界と協同しながら卒業後に社会で活躍できる人財の育成を目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	旅行学科 (海外旅行専攻)	平成7年1月23日 文部科学省告示第7号	-			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1920	1664	288	608	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
240人	160人	6人	10人	16人			
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席率、試験、授業態度による総合評価			
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月25日～8月31日 ■冬季:12月24日～1月7日 ■春季:3月1日～3月31日 ■学年末:3月31日		卒業・進級条件	卒業単位の取得が条件			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 個人面談や三者面談、カウンセラーの紹介を行っている		課外活動	■課外活動の種類 各種イベント、ボランティア活動、クラブ活動を行っている ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 旅行・鉄道・バス・ホテル業界等 ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 95.1% ■その他 (平成26年度卒業者に関する平成27年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等	国内旅行業務取扱管理者 総合旅行業務取扱管理者 旅程管理者 国内地理検定 世界遺産検定 TOEIC 実用英語技能検定等			
中途退学の現状	■中途退学者 9名 ■中退率 6% 平成26年4月1日 在学者 160名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 151名 (平成27年3月31日 卒業者を含む)						
■中途退学の主な理由 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失							
■中退防止のための取組 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など							
ホームページ	http://www.tit.ac.jp/						

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

業界が必要とするスキルを効果的にカリキュラムに反映させることを目的とする

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年4月1日

名 前	所 属
三橋 滋子	日本添乗サービス協会
柏倉 幸彦	株式会社ジャパトラ

(開催日時)

平成27年6月25日 15:00～16:30

平成27年9月1日 13:00～14:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

旅行業界が求めるスキルの向上を目指す

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ワープロ実習・パソコン実習(WEBデザイン)	旅行会社ではパソコンのスキルは必須であり、それを使い、パンフレットの効果的な作成方法などを総合的に学んでいく。	有限会社トラベルリサーチ

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

業界の現状に即した知識を学び、スキルを修得する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年4月1日

名 前	所 属
小林 隆	有限会社東武旅行サービス
関口 恭一	株式会社CALMO(カフェ・カルモ)
西田 篤史	株式会社Feeling Design
高木 友子	公益財団法人日本ケアフィット共育機構
鈴木 俊恭	卒業生
勢川 直樹	卒業生

(学校関係者評価結果の公表方法)

[URL:http://www.tit.ac.jp/](http://www.tit.ac.jp/)

5. 情報提供

(情報提供の方法)

[URL:http://www.tit.ac.jp/](http://www.tit.ac.jp/)

授業科目等の概要

(観光専門課程旅行学科海外専攻) 平成27年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			国家試験対策 (国内)	旅行業法、旅行業約款及び各種約款、国内旅行実務 (国内観光地理、国内運賃料金) を学習し、国家試験の取得を目指す。	1 前	224	14	○			○		○	△		
○			リアルビジネス (旅行会社運営実習)	旅行会社から講師を招き、最新の情報や知識の提供を受けながら、旅行の企画・造成・集客まで一連の流れを修得する。	1 通 2 前	96	6	○	△		○			○		
○			ユニバーサルホスピタリティ (イベントプランニング)	旅行会社で必要とされるイベント企画から運営まで、さらに企画書の書き方などについて学ぶ。	1 通 2 前	96	6	△	○		○			○		
○			海外観光地理	世界各国の観光素材について、世界遺産等を交えながら学ぶ。総合管理者試験対策授業の一環でもある。	1 後	64	4	○			○				○	
○			海外旅行実務	出入国法令をベースに実際の実務について学習する。総合管理者試験対策授業の一環でもある。	1 後	32	2	○			○				○	
○			航空運賃	国際線の航空運賃の算出方法について学習する。総合管理者試験対策授業の一環でもある。	1 後	64	4	○			○			○		
○			プランニング実習 I	国内および海外の観光素材をとりあげた旅行の企画ならびに造成を学習する。	1 通	64	4	△			○	○			○	
○			旅行演習 I (旅行ゼミ)	リアルビジネス (旅行会社運営実習) とリンクし、グループワークを中心に、旅行商品の企画立案、プレゼンテーションを行う。	1 後	96	6		○		○	△			○	
○			予約端末機実習 (CRS実習)	コンピューターを使った航空会社の予約システムの操作方法を修得する。	1 通 2 後	96	6				○	○			○	
合計																
					科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(観光専門課程旅行学科海外専攻) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			就職対策	就職活動に必要な筆記試験、面接、グループディスカッションなどの対応能力の向上を図る。	1後2前	64	4	○			○	○			
○			実用英語 (英検対策)	クラスを級数に分け、各級の実用英語検定試験の合格を目指す。	1通2通	##	16	○			○	○			
○			観光英語 (英会話)	コミュニケーション手段としての英語に特化し、実際に観光業の様々な場面で必要な英会話を学習する。	1通2通	##	8	○		△	○			○	
○			ワープロ実習 (WEBデザイン)	WEB上の広告やパンフレットの作成などで効果的な「見せ方」を習得する。	1通	64	4				○	○		○ ○	
○			ビジネスマナー	社会人として必要な立ち居振る舞い、言葉使い、ビジネスマナーを修得する。	1前2後	64	4	○		△	○		○		
○			国家試験対策	旅行業法、旅行業約款及び各種約款、海外旅行実務(海外地理、出入国法令・実務、旅行実務、語学、国際航空運賃など)を学習し、国家試験の取得を目指す。	2前	##	14	○			○		○		
○			旅行演習Ⅱ (旅行ゼミ)	リアルビジネス(旅行会社運営実習)とリンクし、グループワークを中心に、旅行商品の企画立案、プレゼンテーションを行う。	2後	96	6	○			○	△		○	
○			卒業制作	2年間の集大成として、旅行の原点である「人を動かす」ためのイベントを企画・立案する。	2後	96	6	○	△		○		○	△	
○			パソコン実習 (WEBデザイン)	WEB上の広告やパンフレットの作成などで効果的な「見せ方」を習得する。	2通	64	4				○	○		○ ○	
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(観光専門課程旅行学科海外旅行専攻) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
	○		貿易実務 (検定対策)	運行管理資格の合格を目指す。	2後	32	2	○			○			○	
	○		手話 (検定対策)	地理検定の合格を目指す。	2後	32	2	○			○			○	
	○		旅程管理 (検定対策)	世界遺産検定の合格を目指す。	2後	32	2	○			○			○	
		○	手話	手話の基礎を修得する。	1後	32	2	○		△	○			○	
		○	英会話	ネイティブの教員と、英語でのコミュニケーションの上達を図る。	1後 2後	64	4	○		△	○			○	
		○	パソコン実習	パソコンの基礎的スキルを修得する。	1後 2後	64	4	○		△	○			○	
		○	旅程管理	国内および総合旅程管理資格の修得を目指す。	1後	32	2	○		△	○	△		○	
		○	ホテル概論	ホテル業界の現状と将来について俯瞰する。	2通	64	4	○			○			○	
		○	企業実習	旅行会社でのインターンシップを行う。		320					○	○			
合計					27科目		2560単位時間(160単位)			

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件・・・108単位以上を取得。 その内必修・選択必修科目は96単位以上取得しなければならない	1学年の学期区分	2期
履修方法・・・必修選択・自由選択科目は1回目の授業開始前までに希望をとる	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
東京観光専門学校	昭和57年10月1日	玉井 正人	〒162-0843 東京都新宿区市谷田町3丁目21番地 (電話) 03-3235-5713				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 東京安達学園	昭和42年1月12日	安達 暁子	〒102-0081 東京都千代田区四番町11番地 (電話) 03-3221-0202				
目的	旅行業界のニーズ(コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力・考える力・ビジネスマナー)に合ったカリキュラムを実施し、旅行・観光業界と協同しながら卒業後に社会で活躍できる人財の育成を目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	旅行学科 (トラベルカウンター専攻)	平成7年1月23日 文部科学省告示第7号	-			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1920	1664	288	608	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
240人	160人	6人	10人	16人			
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> ■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日 	成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席率、試験、授業態度による総合評価 				
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> ■学年始:4月1日 ■夏季:7月25日～8月31日 ■冬季:12月24日～1月7日 ■春季:3月1日～3月31日 ■学年末:3月31日 	卒業・進級条件	卒業単位の取得が条件				
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 個人面談や三者面談、カウンセラーの紹介を行っている 	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> ■課外活動の種類 各種イベント、ボランティア活動、クラブ活動を行っている ■サークル活動: 有 				
就職等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ■主な就職先、業界等 旅行・鉄道・バス・ホテル業界等 ■就職率^{※1}: 100% ■卒業者に占める就職者の割合^{※2}: 95.1% ■その他 <p>(平成26年度卒業者に関する平成27年5月1日時点の情報)</p>	主な資格・検定等	<ul style="list-style-type: none"> 国内旅行業務取扱管理者 総合旅行業務取扱管理者 旅程管理者 国内地理検定 世界遺産検定 TOEIC 実用英語技能検定等 				
中途退学の現状	<ul style="list-style-type: none"> ■中途退学者 9名 平成26年4月1日 在学者 160名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 151名 (平成27年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失 ■中退防止のための取組 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など 						
ホームページ	http://www.tit.ac.jp/						

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

業界が必要とするスキルを効果的にカリキュラムに反映させることを目的とする

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年4月1日

名 前	所 属
三橋 滋子	日本添乗サービス協会
柏倉 幸彦	株式会社ジャパトラ

(開催日時)

平成27年6月25日 15:00～16:30

平成27年9月1日 13:00～14:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

旅行業界が求めるスキルの向上を目指す

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ワープロ実習・パソコン実習(WEBデザイン)	旅行会社ではパソコンのスキルは必須であり、それを使い、パンフレットの効果的な作成方法などを総合的に学んでいく。	有限会社トラベルリサーチ

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

業界の現状に即した知識を学び、スキルを修得する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年4月1日

名 前	所 属
小林 隆	有限会社東武旅行サービス
関口 恭一	株式会社CALMO(カフェ・カルモ)
西田 篤史	株式会社Feeling Design
高木 友子	公益財団法人日本ケアフィット共育機構
鈴木 俊恭	卒業生
勢川 直樹	卒業生

(学校関係者評価結果の公表方法)

[URL:http://www.tit.ac.jp/](http://www.tit.ac.jp/)

5. 情報提供

(情報提供の方法)

[URL:http://www.tit.ac.jp/](http://www.tit.ac.jp/)

授業科目等の概要

(観光専門課程旅行学科トラベルカウンター専攻) 平成27年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			国家試験対策 (国内)	旅行業法、旅行業約款及び各種約款、国内旅行実務 (国内観光地理、国内運賃料金) を学習し、国家試験の取得を目指す。	1 前	224	14	○			○		○	△		
○			リアルビジネス (旅行会社運営実習)	旅行会社から講師を招き、最新の情報や知識の提供を受けながら、旅行の企画・造成・集客まで一連の流れを修得する。	1 通 2 前	96	6	○	△		○			○		
○			ユニバーサルホスピタリティ (イベントプランニング)	旅行会社で必要とされるイベント企画から運営まで、さらに企画書の書き方などについて学ぶ。	1 通 2 前	96	6	△	○		○			○		
○			海外観光地理	世界各国の観光素材について、世界遺産等を交えながら学ぶ。総合管理者試験対策授業の一環でもある。	1 後	64	4	○			○				○	
○			海外旅行実務	出入国法令をベースに実際の実務について学習する。総合管理者試験対策授業の一環でもある。	1 後	32	2	○			○				○	
○			航空運賃	国際線の航空運賃の算出方法について学習する。総合管理者試験対策授業の一環でもある。	1 後	64	4	○			○			○		
○			カウンター実習 I	旅行会社のカウンターでの対面販売の手法について、実習を通じてそのスキルを修得する。	1 通	64	4	△			○	○			○	
○			旅行演習 I (旅行ゼミ)	リアルビジネス (旅行会社運営実習) とリンクし、グループワークを中心に、旅行商品の企画立案、プレゼンテーションを行う。	1 後	96	6		○		○	△			○	
○			予約端末機実習 (CRS実習)	コンピューターを使った航空会社の予約システムの操作方法を修得する。	1 通 2 後	96	6				○	○			○	
合計				科目	単位時間(単位)											

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(観光専門課程旅行学科トラベルカウンター専攻) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			就職対策	就職活動に必要な筆記試験、面接、グループディスカッションなどの対応能力の向上を図る。	1後2前	64	4	○			○	○			
○			実用英語 (英検対策)	クラスを級数に分け、各級の実用英語検定試験の合格を目指す。	1通2通	256	16	○			○	○			
○			観光英語 (英会話)	コミュニケーション手段としての英語に特化し、実際に観光業の様々な場面で必要な英会話を学習する。	1通2通	128	8	○		△	○			○	
○			ワープロ実習 (WEBデザイン)	WEB上の広告やパンフレットの作成などで効果的な「見せ方」を習得する。	1通	64	4				○	○		○ ○	
○			ビジネスマナー	社会人として必要な立ち居振る舞い、言葉使い、ビジネスマナーを修得する。	1前2後	64	4	○		△	○		○		
○			国家試験対策	旅行業法、旅行業約款及び各種約款、海外旅行実務(海外地理、出入国法令・実務、旅行実務、語学、国際航空運賃など)を学習し、国家試験の取得を目指す。	2前	224	14	○			○		○		
○			旅行演習Ⅱ (旅行ゼミ)	リアルビジネス(旅行会社運営実習)とリンクし、グループワークを中心に、旅行商品の企画立案、プレゼンテーションを行う。	2後	96	6	○			○	△		○	
○			卒業制作	2年間の集大成として、旅行の原点である「人を動かす」ためのイベントを企画・立案する。	2後	96	6	○	△		○		○	△	
○			パソコン実習 (WEBデザイン)	WEB上の広告やパンフレットの作成などで効果的な「見せ方」を習得する。	2通	64	4				○	○		○ ○	
合計															
					科目	単位時間(単位)	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(観光専門課程旅行学科トラベルカウンター専攻) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		貿易実務 (検定対策)	運行管理資格の合格を目指す。	2後	32	2	○			○			○	
	○		手話 (検定対策)	地理検定の合格を目指す。	2後	32	2	○			○			○	
	○		旅程管理 (検定対策)	世界遺産検定の合格を目指す。	2後	32	2	○			○			○	
		○	手話	手話の基礎を修得する。	1後	32	2	○		△	○			○	
		○	英会話	ネイティブの教員と、英語でのコミュニケーションの上達を図る。	1後 2後	64	4	○		△	○			○	
		○	パソコン実習	パソコンの基礎的スキルを修得する。	1後 2後	64	4	○		△	○			○	
		○	旅程管理	国内および総合旅程管理資格の修得を目指す。	1後	32	2	○		△	○	△		○	
		○	ホテル概論	ホテル業界の現状と将来について俯瞰する。	2通	64	4	○			○			○	
		○	企業実習	旅行会社でのインターンシップを行う。		320					○	○			
合計					27科目		2560単位時間(160単位)			

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件・・・108単位以上を取得。 その内必修・選択必修科目は96単位以上取得しなければならない	1学年の学期区分	2期
履修方法・・・必修選択・自由選択科目は1回目の授業開始前までに希望をとる	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
東京観光専門学校		昭和57年10月1日	玉井 正人		〒162-0843 東京都新宿区市谷田町3丁目21番地 (電話) 03-3235-5713		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 東京安達学園		昭和42年1月12日	安達 暁子		〒102-0081 東京都千代田区四番町11番地 (電話) 03-3221-0202		
目的	旅行業界のニーズ(コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力・考える力・ビジネスマナー)に合ったカリキュラムを実施し、旅行・観光業界と協同しながら卒業後に社会で活躍できる人財の育成を目的とする。						
分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士		
商業実務	観光専門課程	旅行学科 (イベント・スポーツ専攻)		平成7年1月23日 文部科学省告示第7号	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1920	1760	256	544	0	0
単位時間							
生徒総定員		生徒実員	専任教員数		兼任教員数	総教員数	
240人		160人	6人		10人	16人	
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席率、試験、授業態度による総合評価		
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月25日～8月31日 ■冬季:12月24日～1月7日 ■春季:3月1日～3月31日 ■学年末:3月31日		卒業・進級条件		卒業単位の取得が条件		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 個人面談や三者面談、カウンセラーの紹介を行っている		課外活動		■課外活動の種類 各種イベント、ボランティア活動、クラブ活動を行っている ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 旅行・鉄道・バス・ホテル業界等 ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 95.1% ■その他 (平成26年度卒業者に関する平成27年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等		国内旅行業務取扱管理者 総合旅行業務取扱管理者 旅程管理者 国内地理検定 世界遺産検定 TOEIC 実用英語技能検定等		
中途退学の現状	■中途退学者 9名 平成26年4月1日 在学者 160名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 151名 (平成27年3月31日 卒業者を含む)		■中退率 6%				
	■中途退学の主な理由 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失						
	■中退防止のための取組 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など						
ホームページ	http://www.tit.ac.jp/						

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

業界が必要とするスキルを効果的にカリキュラムに反映させることを目的とする

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年4月1日

名 前	所 属
三橋 滋子	日本添乗サービス協会
柏倉 幸彦	株式会社ジャパトラ

(開催日時)

平成27年6月25日 15:00～16:30

平成27年9月1日 13:00～14:30

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

旅行業界が求めるスキルの向上を目指す

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ワープロ実習・パソコン実習(WEBデザイン)	旅行会社ではパソコンのスキルは必須であり、それを使い、パンフレットの効果的な作成方法などを総合的に学んでいく。	有限会社トラベルリサーチ

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

業界の現状に即した知識を学び、スキルを修得する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年4月1日

名 前	所 属
小林 隆	有限会社東武旅行サービス
関口 恭一	株式会社CALMO(カフェ・カルモ)
西田 篤史	株式会社Feeling Design
高木 友子	公益財団法人日本ケアフィット共育機構
鈴木 俊恭	卒業生
勢川 直樹	卒業生

(学校関係者評価結果の公表方法)

[URL:http://www.tit.ac.jp/](http://www.tit.ac.jp/)

5. 情報提供

(情報提供の方法)

[URL:http://www.tit.ac.jp/](http://www.tit.ac.jp/)

授業科目等の概要

(観光専門課程旅行学科イベント・スポーツ専攻) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			国家試験対策 (国内)	旅行業法、旅行業約款及び各種約款、国内旅行実務 (国内観光地理、国内運賃料金) を学習し、国家試験の取得を目指す。	1前	224	14	○			○		○	△	
○			リアルビジネス (旅行会社運営実習)	旅行会社から講師を招き、最新の情報や知識の提供を受けながら、旅行の企画・造成・集客まで一連の流れを修得する。	1通 2前	96	6	○	△		○			○	
○			ユニバーサルホスピタリティ (イベントプランニング)	旅行会社で必要とされるイベント企画から運営まで、さらに企画書の書き方などについて学ぶ。	1通	64	4	△	○		○			○	
○			海外観光地理	世界各国の観光素材について、世界遺産等を交えながら学ぶ。総合管理者試験対策授業の一環でもある。	1後	64	4	○			○			○	
○			海外旅行実務	出入国法令をベースに実際の実務について学習する。総合管理者試験対策授業の一環でもある。	1後	32	2	○			○			○	
○			航空運賃	国際線の航空運賃の算出方法について学習する。総合管理者試験対策授業の一環でもある。	1後	64	4	○			○		○		
○			イベント・スポーツ理論 I	各種イベントの企画、プレゼンテーションから運営、実施まで、一連の流れを学習する。	1通	64	4	○			○			○	
○			旅行演習 I (旅行ゼミ)	リアルビジネス (旅行会社運営実習) とリンクし、グループワークを中心に、旅行商品の企画立案、プレゼンテーションを行う。	1後	96	6		○		○	△		○	
○			予約端末機実習 (CRS実習)	コンピューターを使った航空会社の予約システムの操作方法を修得する。	1通 2後	96	6			○	○			○	
合計															
					科目	単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(観光専門課程旅行学科イベント・スポーツ専攻) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			就職対策	就職活動に必要な筆記試験、面接、グループディスカッションなどの対応能力の向上を図る。	1後2前	64	4	○			○	○			
○			実用英語(英検対策)	クラスを級数に分け、各級の実用英語検定試験の合格を目指す。	1通2通	256	16	○			○	○			
○			観光英語(英会話)	コミュニケーション手段としての英語に特化し、実際に観光業の様々な場面で必要な英会話を学習する。	1通2通	128	8	○		△	○			○	
○			ワープロ実習(WEBデザイン)	WEB上の広告やパンフレットの作成などで効果的な「見せ方」を習得する。	1通	64	4				○	○		○ ○	
○			ビジネスマナー	社会人として必要な立ち居振る舞い、言葉使い、ビジネスマナーを修得する。	1前2後	64	4	○		△	○		○		
○			国家試験対策	旅行業法、旅行業約款及び各種約款、海外旅行実務(海外地理、出入国法令・実務、旅行実務、語学、国際航空運賃など)を学習し、国家試験の取得を目指す。	2前	224	14	○			○		○		
○			イベント・スポーツ理論Ⅱ	各種イベントの企画、プレゼンテーションから運営、実施まで、一連の流れを学習する。	2前	32	2	○			○			○	
○			旅行演習Ⅱ(旅行ゼミ)	リアルビジネス(旅行会社運営実習)とリンクし、グループワークを中心に、旅行商品の企画立案、プレゼンテーションを行う。	2後	96	6		○		○	△		○	
○			卒業制作	2年間の集大成として、旅行の原点である「人を動かす」ためのイベントを企画・立案する。	2後	96	6	○	△		○		○	△	
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(観光専門課程旅行学科イベント・スポーツ専攻) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			パソコン実習 (WEBデザイン)	WEB上の広告やパンフレットの作成などで効果的な「見せ方」を習得する。	2通	64	4			○	○			○	○
	○		貿易実務 (検定対策)	運行管理資格の合格を目指す。	2後	32	2	○			○				○
	○		手話 (検定対策)	地理検定の合格を目指す。	2後	32	2	○			○				○
	○		旅程管理 (検定対策)	世界遺産検定の合格を目指す。	2後	32	2	○			○				○
		○	手話	手話の基礎を修得する。	1後	32	2	○		△	○				○
		○	英会話	ネイティブの教員と、英語でのコミュニケーションの上達を図る。	1後 2後	64	4	○		△	○				○
		○	パソコン実習	パソコンの基礎的スキルを修得する。	1後 2後	64	4	○		△	○				○
		○	旅程管理	国内および総合旅程管理資格の修得を目指す。	1後	32	2	○		△	○	△			○
		○	ホテル概論	ホテル業界の現状と将来について俯瞰する。	2通	64	4	○			○				○
合計				科目	単位時間(単位)		

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(観光専門課程旅行学科イベント・スポーツ専攻) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	企業実習	旅行会社でのインターンシップを行う。		320				○		○			
合計						28科目	2560単位時間(160単位)					

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件・・・108単位以上を取得。 その内必修・選択必修科目は96単位以上取得しなければならない	1学年の学期区分	2期
履修方法・・・必修選択・自由選択科目は1回目の授業開始前までに希望をとる	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。